Dサイトマップ DKISSポート財団について D港区コミュニティ情報誌「Kissポート」について D品質・環境への取り組み

港区コミュニティ情報ネット

ここは港区の情報ポータルサイト。最新の耳より情報がいっぱいです!

検索するキーワードを入力

検索

Kissポートからのお知らせ 今月のおススメ! イベント情報・チケット情報 サークル情報 施設案内

港区探訪 ふれあいコラム 連載コラム 地域人 Kissポートギャラリー

Ţ 文字サイズ → 大きい ○ ふつう □ 小さい

HOME > 港区探訪 > 港区探訪: 歌舞伎「元禄忠臣蔵」特集4 浮世絵で見る忠臣蔵の世界

# 港区探訪

A A AMA X

歌舞伎「元禄忠臣蔵」特集 ④

>> バックナンバー

## 「浮世絵で見る忠臣蔵の世界」

2006年12月17日、国立劇場で上演された「元禄忠臣蔵~第三部~」にちなみ、4回にわたって、忠臣蔵や江戸の世界を「浮世絵」を通してご案内しています。前回は、「歌舞伎と浮世絵」をご紹介しました。第4回は「浮世絵で見る忠臣蔵の世界」です。



▲「誠忠義士聞書之内 討入本望之図」<歌川 国芳> 嘉永5年(1852) 四十七士が今まさに吉良上野介邸に討ち入らんとする場面が描かれています。

## 忠臣蔵ゆかりの場所・泉岳寺

元禄15年(1702)12月14日深夜(15日未明)、大石内蔵助(くらのすけ)以下47人の浪士が吉良上野介(きらこうずけのすけ)邸に討ち入りました。47人の浪士は、吉良上野介義央(よしひさ)への遺恨から江戸城内松の廊下で刃傷沙汰を起こし、切腹・お家断絶となった赤穂藩主・浅野内匠頭長矩(たくみのかみながのり)の遺臣。見事主人の無念を果たすも、幕府の命により切腹処分となりました。これが歴史に名高い「元禄赤穂事件」です。

赤穂義士たちの行動は人々の称賛と同情を集め、寛延元年(1748)、大阪・竹本座で元禄赤穂事件を題材とした人形浄 瑠璃「仮名手本忠臣蔵」が演じられ、大入りとなりました。実際の事件や人名を実名で出すことは禁止されていたため、仮 名手本忠臣蔵は、浅野内匠頭長矩を塩冶判官高定(えんやはんがんたかさだ)高家(こうけ)吉良上野介義央を高武蔵 守師直 (こうのむさしのかみもろなお)、大石内蔵助を大星由良之助 (おおぼしゆらのすけ) と改め、時代も南北朝の太平 記の世界に置き換えて描かれています。同年12月には歌舞伎でも舞台化。これさえ出せば必ず芝居興行が当たることか ら、「芝居の独参湯(どくじんとう)(気付け薬)」と言われるほどの人気演目となりました。

以降演劇や講談などで元禄赤穂事件を題材にした演目は、「忠臣蔵もの」と呼ばれています。忠臣蔵とは、「蔵いっぱい の忠臣」というような意味。赤穂浪士の忠義ぶりに感情移入したとらえ方であるため、史実として元禄赤穂事件を取り扱う 場合は「忠臣蔵」という言い方は避けられます。しかし今では元禄赤穂事件が忠臣蔵で通るほど、日本人にはなじみの深 い事件となっています。これはいかに演劇の忠臣蔵ものが一般に浸透しているかという証だと言えるでしょう。

武士だけでなく、老若男女、将軍から町民まで様々な層の人物を登場させ、心理的な葛藤、親子や夫婦の絆を巧みな構 成で描いていることが、忠臣蔵ものに共通する特徴です。仮名手本忠臣蔵の初演以来250年以上もの間、忠臣蔵が 人々に愛され続けてきた理由もここにあるのでしょう。

歌舞伎の人気演目「忠臣蔵」は浮世絵の格好の題材。舞台の名場面や人気役者の絵だけでなく、名所絵や美人絵との組み 合わせ、子ども向けのおもちゃ絵、パロディーに至るまで、趣向をこらしたものが数多くあります。

## 【名所と組み合わせた役者絵】



▲「東海道日本橋品川間 高輪 由良之助」<歌 川 豊国(三代)> 嘉永5年(1852) 三代目沢村宗十郎の大星由良之助。背景は雪 景色の品川宿。東海道は現在の第一京浜にあ たります。

#### 【美人絵との組み合わせ】



▲「絵兄弟忠臣蔵 六段目」<歌川 国貞(初代) > 天保4年(1833)頃 背景には「早野勘平(はやの・かんぺい)住家の 場」が描かれ、手前の美人は廓(くるわ)に向かう 「おかる」を模しています。

#### 忠臣蔵ゆかりの場所・泉岳寺

討ち入りを果たした赤穂浪士は、主君長矩が眠る泉岳寺へ向かいました。泉岳寺は曹洞宗江戸三ヶ寺の一つで、慶長 17年(1612)徳川家康の命で外桜田に創立。寛永の大火(寛永18年(1641))で焼失後、高輪に移転した泉岳寺の復 興・完成を、徳川家光が命じた大名家の一つが浅野家です。このことが縁で泉岳寺は浅野家の菩提寺となり、後に大石 内蔵助以下四十七士も葬られました。12月14日は四十七士を偲ぶ義士祭が催され、多くの参詣者が手向ける線香の煙 がたちこめます。

泉岳寺には赤穂義士たちの遺品が多く納められていますが、後の世につくられた奉納品も少なくありません。明治38年 (1905)に奉納された絵馬「大星由良之助」もその一つです。仮名手本忠臣蔵・四段目の「返し」と呼ばれる場面で、当時 26歳の歌舞伎役者・市川莚升 (えんしょう) が描かれています。

莚升は後に二代目市川左団次を襲名、昭和9年(1934)には現在国立劇場で上演されている「元禄忠臣蔵」の初作『大 石最後の一日』で大石内蔵助を演じました。

真山青果(まやませいか)作の元禄忠臣蔵は、登場人物は全て実名で登場、昭和に書かれた近代歌舞伎ならではの醍 醐味が凝縮された大作です。仮名手本忠臣蔵との違いを見比べるのも面白いでしょう。

4回にわたり歌舞伎と江戸の世界を、浮世絵を通じてご紹介いたしました。江戸の人々の暮らしや文化に親しんでいただ くきっかけになれば幸いです。

(元禄忠臣蔵特集でご紹介している浮世絵は港区立港郷土資料館所蔵品です)

港区立港郷土資料館(文化財保護調査員) 小澤絵理子



▲「市川莚升 大星由良之助」<鳥居 清忠(四代)> 明治38年(1905) [泉岳寺蔵]

26歳で大役・大星由良之助を務めた市川莚升が泉岳寺に奉納した絵 馬。刀の描き方に遠近法を取り入れるなど、明治期の作品ならではの 特徴が見られます。

## →「江戸名勝図会 泉岳寺」<歌川 広重 (三代)>元治元年 (1864)

「浅野家の香花寺(※ 菩提寺)にして内匠 頭長矩および其臣四 十七人の石塔は南の 丘の半腹にあり。... (中略)当寺に義士の 遺物数品ありて開帳 の時は諸人に是を見 せしむ」と書かれてい ます。



### **▲このページのトップへ**

#### ┃ 個人情報保護について [PDF] ┃

## Kissポート財団 💖

(公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団)

港区赤坂4-18-13赤坂コミュニティーぷらざ

電話:03-5770-6837/Fax:03-5770-6884 お問い合わせ: fureai-info@kissport.or.jp

#### ➡ Kissポート財団について





このホームページはKissポート財団の公式ホームページです。このホームページのすべての権利は当財団に帰属します。 当財団の許可なく複製、転載は出来ません。